

まちスポ飛騨高山 @みんなの森 ぎふメディアコスモス
「外国人のための防災教室」

岐阜市国際交流協会主催の「外国人のための防災教室」にまちスポスタッフ防災士の五十嵐と、日本語教師の野首が講師として参加しました。外国人市民が災害時に安全な行動をとれることを目的にし、ワークショップ形式で行いました。日本で起こる災害を学び、各グループで「自分の国ではどんな災害があるか?」「その時どうしたか?」「どんな準備をしたか?」を話しました。そして、岐阜市の防災士のみなさんとハザードマップを使い、住まい、勤務先の確認をして地震、洪水時の避難所の確認も行いました。

中国やフィリピン、ベトナム出身の方たちが参加してくだ

さいました。「とても楽しく災害と防災について知ることができた」や「日本に来てまだ3か月で日本語もまだあまり話すことが出来ないが、有事の時の身の守り方が分かって安心した」との感想をいただきました。



日時: 2023年10月22日(日) 9:30~11:00
会場: みんなの森 ぎふメディアコスモス
参加対象/人数: 外国人、外国にルーツのある人/22名
主催: 公益財団法人 岐阜市国際交流協会



まちスポとやま **社会に学ぶ14歳の挑戦**
総曲輪レガートスクエア協議会 官民連携事業 **富山市立芝園中学校受け入れ**

今年度2校目となる「14歳の挑戦」。芝園中学校から5名の生徒を受け入れ、総曲輪レガートスクエア内の4施設と周辺2施設で、5日間にわたりさまざまな仕事を体験してもらいました。偶然、母親の職場を体験した生徒もいて「働いている姿を想像したこともなかったのだからいい経験になった」と話していました。まちスポとやまでは、最終日に視察対応の手伝いもしてもらい、参加者から感想等を質問されると「学校では体験できないことばかりで、毎日が楽しいです」と、しっかりと答えていました。



期間: 9月25日(月)~29日(金)
参加者: 富山市立芝園中学校2年生5名
活動施設: 富山市医師会看護専門学校、グンゼスポーツ青池学園、まちスポとやま、パケ・ドウ(花屋) JMAX THEATER とやま



最新の情報はこちら **更新中**
 ホームページ <http://machispo.org>

ホームページのほか、noteやSNSも随時更新中。ぜひご覧ください

note <https://note.com/20121101/>
 ひだっち blog <https://www.hida-ch.com>
 まちスポとやま <https://www.machispo-toyama.org>

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました!
 詳しくはこちらをご覧ください!

活動を応援して下さる方を 募集しています。
 個人年会費 1口 ¥3,000
 法人年会費 1口 ¥5,000

納入先
 郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット



まちスポとやま **総曲輪レガートスクエアが官民連携視察地の一つに**
世界銀行研修 各国政府関係者が来訪

10月18日、富山市が協定を結ぶ世界銀行が実施する研修の一環で、アジアやアフリカ等世界から約60人の政府関係者が総曲輪レガートスクエアにいらっしゃいました。今回、富山市の健康や福祉のインフラ機能であり官民連携の複合施設である総曲輪レガートスクエアが視察地の一つになりました。

まちスポとやま総曲輪レガートスクエア協議会の事務局として、施設案内を富山市と一緒に実施。まちなか総合ケアセンターや、青池学園、看護学校などの施設紹介から、市民の交流イベント等も紹介。事業者の視点でも施設を利用する市民の視点でも総曲輪レガートスクエアのポイントをお伝えしました。



視察対応



動画視聴と概要説明の後、同時通訳者2名とまちスポとやまスタッフが2グループに分かれて施設内を案内

受入日: 2023年10月18日(水)
参加者: 世界銀行関係者およびタイやヨルダン等開発途上国政府関係者約60名

まちスポ飛騨高山 **第21回スキマ研究会**
Startup Jam Session in Hida

昨年に引き続き、域外のスタートアップ・ソーシャルベンチャーの起業家6名が高山市に大集結しました。まちスポはひだ財団の活動周知の一環として企画運営に協力しています。オープニングでは、「ボードレス・ジャパン」副社長鈴木雅剛さんと飛騨地域から「株式会社リトルパーク」古里圭史さんが「飛騨×スタートアップ・ソーシャルベンチャーの可能性」をテーマにセッションを行いました。続いて、スタートアップ企業4社(株式会社ホーン、DRONE FUND株式会社/VFR株式会社、YADOKARI株式会社、株式会社Huber)とソーシャルベンチャー企業2社(CHEERS株式会社、株式会社シスターズ)による事業内容の紹介と飛騨というフィールドでの

事業の発展性についてプレゼンテーションを実施。最後は、登壇者全員による「Jam Session」。飛騨地域の事業者、行政職員、金融関係者、様々な方に参加いただき、新たなアイデアと自分たちがやっていることを組み合わせ、今何ができるか、と具体的に話し合う姿が印象的でした。



日時: 2023年10月6日(金)13:00~16:30 **参加者数:** 90名
会場: オンライン/HIDA森と暮らしの編集室(高山市名田町1-82-1)
主催: 一般財団法人ひだ財団、株式会社リトルパーク **共催:** 中部ニュービジネス協議会
協力: 認定NPO法人まちづくりスポット **後援:** 高山市、飛騨市



飛び出せ★元気市民
高山



飛騨骨髄献血希望者を募る会

ひら かずたみ
平 和民さん

飛騨地域の
ドナー登録者を増やしたい

今回は、印刷会社の代表取締役社長の傍ら、ご自身の大病をきっかけに「飛騨骨髄献血希望者を募る会」で活動中(の会員)の平和民(ひら かずたみ)さんにお話を伺いました。

助かる方法は骨髄移植のみ

平さんは、今から24年前(西暦1999年)の夏、突然「白血病」と診断されました。当時は働き盛りの30代半ば、お子さんはまだ1歳でした。それまで風邪などひいたこともない健康体だった平さんが2ヶ月ほど体調を崩し、病院で血液検査を受けると、車いすに乘せられ、緊急入院。翌々日には岐阜の病院へ救急車で転院と急展開だったそうです。いつどうなるかわからないほどにかなり悪い状態で、助かる方法は「骨髄移植」のみでした。骨髄移植はドナーが見つければ良いというだけの簡単な話ではありません。まず化学療法の強い抗がん剤を投与し、がん細胞を寛解させることができ初めてドナーから骨髄移植をすることができるそうです。平さんは3度目の抗がん剤治療でようやく寛解することができ、幸いにも型の合うドナーが見つかり、名古屋の病院へ転院して、2000年6月に骨髄移植をすることができました。

「飛騨骨髄献血希望者を募る会」との出会い

型が合ったとはいえ、他人の骨髄なのですぐに体が慣れるわけではありませんでした。GVHDと呼ばれるアレルギー反応のようなものがあり、爪が取れたり、皮がポロポロむけたり、皮膚が脂性肌から乾燥肌に変まりました。個人差がありますが、平さん

さんは白血病発覚の入院から退院するまでに約1年、骨髄が自分の体に合うまでに約5年かかったそうです。その後、「飛騨骨髄献血希望者を募る会」の活動を知り、せっかく繋げて頂いた命を活かしたいと入会し、現在は説明会での呼びかけや、ご自身の経験を講演会で語ったりと活躍の場を広げています。

ひとりでも多くの方に

ひと昔前までは学校などでの周知活動や映画上映会、血液内科の先生をお招きしての講演会やドナーさんとのパネルディスカッションなど積極的に活動していましたが、ここ3年はコロナ禍の影響で活動を制限せざるをえませんでした。これからまた精力的に活動していきたいと考えているそうですが、メンバーは5名(高山市3名・飛騨市1名・下呂市1名)のため、ドナー登録のきっかけをつくる説明員(会員)を募集しているそうです。骨髄移植と聞くと、他人事のように感じてしましますが、もし、自分が、自分の身内が白血病になったら…？あなたの勇気が誰かの命を救うときがあるかもしれません。まずはたくさんの方に活動について知って頂き、ドナー登録や会員登録する方が増え、ひとりでも多くの方の命に繋がって欲しいと思います。

(まちスポサポーター 大志多恵子)

Information

飛騨地域の骨髄バンク受付場所

■飛騨保健所(高山市上岡町7-468飛騨総合庁舎)
受付:原則第1、3木曜日 9:00~11:00
TEL:0577-33-1111
※骨髄ドナー登録は予約制です。事前にご連絡ください。

「飛騨骨髄献血希望者を募る会」へご連絡を希望の方はまちスポまでお問合せください。



9月に行われた「第20回スキマ研究会・みんなの選択 ~骨髄バンクについて~」の様子

まちスポ飛騨高山 **フォトマトペ高山**
フォトグラファーとまちなみあるき



フォトグラファーさんに写真の撮り方を教わって高山の街並みでいい感じの写真撮影しよう! ということで、「建物・文化コース」と「食べ歩きコース」に分かれて、古い街並み周辺を散策しながら写真を撮りながら街歩きする”フォトウォーク”を開催しました。

参加者は、思い描く構図で撮影しようと、一枚一枚試行錯誤しながら、撮った写真を見せ合いながら街歩きしました。撮った写真は任意団体「フォトマトペ高山」が現在制作を進めている観光ボードゲームのカードに使われる予定です。



観光ボードゲーム フォトマトペとは?
フォト(写真)とオノマトペを組み合わせた造語で、鳥取県大山町で生まれた言葉です。

開催日: 2023年9月24日(日) 13:00~16:00
場 所: 村半 参加者: 12名
主 催: フォトマトペ高山
協 力: 認定NPO法人まちづくりスポット

まちスポとやま



とやまし元気づくりプロジェクト2023

第4回ブラとやま 富山空港周辺コース



今年度4回目となるブラとやまでは富山空港周辺を散策しました。「高山線と神通川」というテーマで行われている今年のブラとやまでは唯一、高山本線の沿線を離れるコースです。

晴天に恵まれて行われたまち歩き中には、富山空港の歴史を振り返りながら、河川敷に滑走路が位置しているという富山空港ならではの特徴を踏まえて、神通川との関係について掘り下げました。まち歩きの後半には、飛行機の離着陸を参加者の皆さんで見ることができました。初参加の方もガイドさんや他の参加者とコミュニケーションを取りながら、まち歩きを楽しんでおられた印象です。

次の第5回ブラとやまは今年度最終回となります。

開催日: 2023年10月7日(土) 9:30~12:30
場 所: 富山市婦中町 参加者: 14名+ガイド・スタッフ6名
主 催: 富山市福祉政策課
認定NPO法人まちづくりスポット まちスポとやま

